



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第111号

発行:2015年7月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

介護報酬改定の影響

～明るい未来を目指して～

介護老人保健施設 阿久和鳳荘 事務長 福島 洋平



4月に行われた介護報酬改定から、3ヶ月が過ぎました。皆さん既にご存知かと思いますが、全体の改定率は▲2.27%、収支に影響のない部分を差し引いた実質改定率は▲4.48%で、“史上3番目の下げ幅”と表現される通り大変に厳しく、今後の施設運営に頭を悩ませているところです。また、その内容はというと ①中重度の要介護者や認知症高齢者への対応強化 ②介護人材確保対策の推進 ③サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築を柱としたもので、地域包括ケアシステムの実現に焦点が当てられていることが読み取れます。

老健施設について掘り下げると、もはやブレることなく在宅復帰機能の更なる強化が求められ、私どもの施設のように一定の在宅復帰率を達成していない老健施設（従来型施設）においては、まさに生き残りを賭けた取組みを推し進める必要があると切に感じています。と、ここまでは想定内だったのですが、今改定が一番のトピックスはやはり、通所リハビリテーション（以下デイケア）でしょう。施設入所者の“在宅復帰”と同じような考えで、デイケア利用者の“卒業”という新しくも大きな方向性が、今回初めて示されたからです。これまでデイケアは在宅サービスのカテゴリーだと、勝手に思い込んでいた私にとって、その概念を根底から覆される内容で、正直、理解するまでに時間が掛かりました。

先日、地域で居宅ケアマネージャーをされている方々へ向けて、デイケアの改定内容について新設された加算（※下記参照）等を含めお話しさせて頂く機会がありましたが、「リハビリテーションマネジ

メント加算（Ⅱ）は全員が対象となるのか」「社会参加を維持できるサービスとは具体的にどのようなものか」など様々なご意見やご質問を頂くことができ、その関心の高さもさることながら、まだまだ情報が行き渡っていない状況での皆さんのとまどいや不安などの心境も感じ取ることができました。しかしそれもそのはず、新設された加算はどれも単位数が高く、結果として高齢者の負担も増加してしまうことになり、高齢者の在宅生活を支えるケアマネージャーの方々の立場を考えれば、当然の反応だろうと思います。我々施設側としては、そのあたりを十分に理解した上で、単位数に見合った、皆さまの納得して頂けるサービスが提供できるよう、ケアの質を更に向上させていくことが必要不可欠で、当面の課題であります。

さて、75歳以上の後期高齢者が2千万人超、介護人材も37万人が不足すると推計される、所謂“2025年問題”まであと10年。その頃には、現在の地域包括ケアシステムがますます昇華され、高齢者や家族の痛みや不安が解消されている世の中になっているのだろうか…と、どこか他人事のように感じている自分があります。国が目指している理想と課題が山積している現実とのギャップをどう埋めたらよいものかと、悶々とした日々が続いていますが、まずは先述したような目の前の課題を一つひとつクリアすることに専念していこうと思います。そして近い将来、老健としての使命を果たし地域に貢献できる施設になっていけるよう、七夕様に祈りつつ、これからも努力していきたいと思っています。

※通所リハビリテーション 主な新設加算

- ◆リハビリテーションマネジメント加算（Ⅱ）【6月以内1020単位/月、6月超700単位/月】
→リハビリテーション会議を通して情報共有を行い、適切で効果の高いリハビリを提供できる体制を評価。
- ◆生活行為向上リハビリテーション【3月以内2000単位/月、3月超6月以内1000単位/月】
→ADLやIADL、社会参加に特化したリハビリテーションを提供した場合の評価。
- ◆社会参加支援加算【12単位/日】
→通所リハビリテーション卒業者のうち社会参加へ移行した方の割合及びサービス全体の回転率が一定の割合を超えている場合の評価。



星に願いを ~七夕に祈りを込めて~

桃の節句、端午の節句と同じ五節句のひとつとされる七夕（たなばた/しちせき）。

阿久和鳳荘では毎年、地元の方のご厚意で立派な笹を頂くことができ、6月下旬より、各フロアにて飾り付けを行っています。色とりどりの笹飾りも、職員&利用者様の手作りで、短冊には利用者様（中には職員）の願い事を書いていただきました。

「宝くじが当たりますように・・・!!!」「美味しいものがたくさん食べられますように!」と俗気のある楽しいものから「皆が幸せに過ごせますように」といった何とも心温まるものまで、内容はさまざま。7月7日当日は生憎の梅雨空で、織姫と彦星は会うことができたのかは分かりませんが、皆さんの願い事が一つでも多く叶うことを願っています。



《七夕メニュー》

七夕そうめん、かきあげ、マンゴー
昼食は行事食を提供し、季節感を楽しんでいただきました。

※そうめんは、千年も前から七夕行事食として扱われ、邪気を払い1年間無病息災を祈るという意味合いがこめられています。



~ 阿久和鳳荘新人紹介 ~



「阿久和鳳荘に入社して5ヶ月になります。施設も利用者様も、よりよい施設になりますように頑張っていきます。よろしくお願いします。」

介護福祉士
宮川 尚則



「利用者様とコミュニケーションをとり、楽しく仕事していきます。」

ケアワーカー
小島 柁



「未経験なので、利用者様、職員の方にも沢山ご迷惑をかけると思いますが、少しでも早く仕事を覚えて、足を引っ張らないよう頑張りますので宜しくお願いします。」

ケアワーカー
長野 智史



「温かなご利用者様、職員に囲まれ楽しくお仕事をしています。居心地の良い空間、楽しい時間を過ごして頂ける様、頑張りたいと思います。」

介護福祉士
齊藤 理恵



「ご利用者様に『橋本さん』と笑顔で呼ばれる人気者の介護職員を目指していきます。」

ケアワーカー
橋本 隼



「未経験の入浴介助とデイケアご利用者様の送迎の道を覚えるのに苦労しています。1日も早く上達するように頑張ります。」

総務課員
出川 茂